

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔45〕 東京都台東区立千束社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)			
	24年 59,785	48,150	11,634			
	25年 61,887	49,624	12,263			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草4-24-13 (千束小学校3F)					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日:火～日曜:9:00～22:00 月曜:13:00～22:00 休館日:年末年始(12/28～1/4) 設備点検日					
(5)規模	ホール:50名(107㎡) 和室:25名(49㎡) 会議室:45名(70㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	4講座実施 延べ8回 延参加人数 156人					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	14,065,000	14,117,000	13,879,000	15,706,000	15,551,000
	利用料金収入	1,320,000	1,340,000	1,400,000	1,340,000	1,400,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,385,000	15,457,000	15,279,000	17,046,000	16,951,000
決算	委託料	14,065,000	14,117,000	13,879,000	15,706,000	15,551,000
	利用料金収入	1,594,760	1,659,650	1,446,695	1,331,590	1,417,560
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,659,760	15,776,650	15,325,695	17,037,590	16,968,560
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
年間開館日数		日	342	343	339	340
自主事業講座数		講座	18	18	17	14
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度
利用率		%	50.0	48.9	48.0	50.0
利用人数		人	21,000	19,998	19,976	20,478

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

引き続き、待遇・セキュリティ・理念の研修を実施し、職員の資質向上に努めた。自主事業では、下町散歩(浅草・千束)や木目込の干支人形づくり、はじめてのお香講座と地域に根ざした講座を開催し、新規利用者数の増加に繋がった。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0: 協定等の水準を下回っている。
 -: 評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接客 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	新規利用者の増加を図るため、自主事業では地域に根ざした講座を開催するなど内容を充実するとともに、曜日や時間、周知方法の工夫を行った。
(2)施設の維持管理	A	館内の巡回を増やし、清掃・衛生管理や破損箇所の早期発見に努めている。また、軽微な修繕については職員が対応している。
(3)利用者の満足度	A	施設が小学校の3階部分に位置しているため、1階にインターホンを設置し、昇降の困難な方には職員が手助けを行っている。また、階段の踊り場に途中休憩用に椅子を設置するなど、利用しやすい環境整備に努めており、利用者からも好評を得ている。
(4)収入支出	A	適正な予算管理・予算執行を行っている。こまめな節電に取り組むなど、経費節減に努力している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

講座内容の充実や実施方法の工夫により利用者数は増加しており、順調な事業運営となっている。昇降困難な方への配慮等、利用しやすい環境整備に取り組んでおり、適切な施設運営を行っている。

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

利用者の利便性の向上を図るため、昇降困難な方に対する対応を強化していく。また、住民のニーズに応える事業を展開していく。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。